

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	4月	12日	(記入者) 小西和子
取材参加者	石井	垣内	久門	小西
	鶴田	本井		島田
取材対象先	大和郡山市：観音寺水利組合の木造十一面観音立像			

所在地	大和郡山市観音寺町182、八幡神社			
所有者(取材 対応者)名	観音寺水利組合(立会者 ** *さん)		連絡先 大和郡山市まちづくり戦略課	
			PCアドレス	
取材申込	申込先・行政名など：大和郡山市まちづくり戦略課			
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造十一面観音立像 2022(令和4)年1月14日指定	
	建造物	棟		
文化財指定理由	表面全体に荒いノミ跡が残る「ナタ彫り」で、関東・東北地方の平安時代の仏像に多く認められる特徴だが、西国では珍しい。梅檀(せんだん)の一材から掘り出したもので、平安時代後期12世紀の作と考えられる。			

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	堂内に感知器や警報機等は設置されていないが、堂外の壁に消火器が格納庫に入れられて取り付けられている。消火器の日付も新しい。火災保険に入っている。	大切に守られている印象を受けた。消火器は定期的に点検を行っておられる。
獣害対策	被害の有無、対策など 地域一帯で獣害はあまりないとのことで、お堂も新しく、被害は見られなかった。	記入者の感想 平成11年に修理されたお堂は新しく、小動物の入るスキは無いように思える。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	区戸数21軒のうち14軒で水利組合を構成し、1年交代の持ち回りでお堂の世話を行っている。毎年度8月と1月に観音祭りを行っていたが、コロナの影響で休止中。防犯のためお堂の入口の扉を所定の操作なく開けると大音量のベルの音が外に聞こえるようになっている。平成11年にお堂が修繕され地域で大切に守られている。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

木造十一面観音像は八幡神社の境内にお堂を建てて安置され、水利組合によって管理されている。保存の状態も良く、盗難予防の為に警報装置が設置され大切に守られている。高齢化少子化による地域人口の減少により維持は大変であるが、1年交代で持ち回りしながら負担の少ないように工夫されている。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	4月	12日	(記入者) 小西和子	
取材参加者	石井	垣内	久門	小西	島田
	鶴田	本井			
取材対象先	大和郡山市：観音寺水利組合の木造十一面観音立像				

〈写真撮影・掲載許可済み〉

文化財指定名 木造十一面観音立像

文化財（正面写真）	文化財（角度を変えて、写真）
 <p>平成11年に撮影されたもの。 堂内に掲示されていた。</p>	 <p>平成11年度奈良県修理記録より引用</p>

木造十一面観音立像を安置するお堂（左） お堂外壁に取り付けられている消火器



文化財の由緒・説明板の有無など 所有社寺や地域（廃寺など）の歴史や特徴等

<p>像高は102センチ。1999（平成11）年に奈良県がこの観音像を修理した記録が残っている。本体の乾燥による割れの接着、頂上仏の欠落や台座の開蓮、両足の欠失部などが補作されている。梅檀の木の壇像で、彫刻の表面に荒いノミの跡が縞目に残っている「ナタ彫り」と呼ばれる造像方法で、神奈川県や岩手県にある像が有名だが、関西では珍しい。説明板等はないが表に御詠歌を書いた額がかかっている。</p>	<p>観世音寺は奈良時代、長屋王が支援し、智通という僧が建立した寺と考えられている。中世には衰退したが、観音寺町の名前が残りお堂が建てられている。近辺では長屋王と関連の深い瓦も発見されているが、塔や金堂などの建物跡が発見されておらず詳しい場所がはっきりしていない。観音寺町は平城京九条羅城門に近く、この辺りに大規模な寺院が建立されていたと考えられている。</p>
---	---